

EDSコンソーシアム事業の指定を受けました

今年度より3ヶ年にわたり、大牟田市は、文部科学省の推進事業を受け福岡教育大学等とESDコンソーシアム(連合体)を結成し、さらにESDを推進していくこととなりました。そこで、ESDコンソーシアム(連合体)の事業について説明します。

〈事業の目的〉

大牟田市教育委員会が中核となり、福岡県教育委員会、福岡教育大学、参画企業及び諸団体等の協力を得ながら、市内のユネスコスクールの「持続可能な開発のための教育(ESD)」のさらなる充実・深化を図るとともに、九州地区を中心とした他地域や海外のユネスコスクール、及びユネスコスクール以外の学校との交流を図り、ESDのさらなる普及発展に期することにより、グローバルに活躍するために求められる資質・能力を育むESDの幅を広げ、学校に限らない広範な普及を図り、国際的視野を持つグローバル人材の裾野を広げる。

大牟田市教育委員会・福岡教育大学、ESDコンソーシアム結成記念 ユネスコスクール・EDS研修会in大牟田

【主催】 大牟田市教育委員会・福岡教育大学
【日時】 平成26年8月26日(火) 【会場】 オームタガーデンホテル
【日程】

〈福岡教育大学主催〉

- 9:45 開会行事 挨拶 大牟田市教育委員会・福岡教育大学
- 10:00 基調講演 文部科学省 国際統括官 加藤 重治 先生(予定)
- 10:30 ミニレクチャー「ESDの質を高めるために」
 - ・ ホリスティック・アプローチによるESDの可能性
東京学芸大学 教授 成田喜一郎 先生
 - ・ 2014年を越え、未来を紡ぐESD
～ESDによって、子ども、教師、学校はどう変わるか～
宮城教育大学 協力研究員 及川 幸彦 先生
 - ・ 生物多様性とESD
福岡教育大学 准教授 唐澤 重考 先生
- 司会 福岡教育大学 教授 石丸 哲史 先生

〈大牟田市教育委員会主催〉

- 13:30 分科会[各分科会 2校(大牟田市、他県)が実践発表し、議論を深めます]
 - ・ 第1分科会 環境学習 第2分科会 地域連携
 - ・ 第3分科会 福祉学習 第4分科会 世界遺産・地域学習
- 15:15 総括 奈良教育大学 副学長 加藤 久雄 先生
- 16:00 閉会



大牟田市立天の原小学校の実践

「生き物ランド」の学習を通して

天の原小学校では、身近な環境と積極的に関わりながら、環境や資源、文化遺産についての理解を深め、環境を大切にすることを育てると共に環境保全やよりよい環境の創造のために、主体的に行動しようとする児童を目指しています。2年生では、プールや運動場で生き物を見つけたり、見つけた生き物について調べたりすることを通して、身近な自然に直接触れる体験を重視し、豊かな感性を育てることや生き物を飼ったり育てたりして、思いやりの心を育てることを目指し学習しています。また、そうした学びを生かして、1年生を招待することを目的として、「生き物ランド」を開いて、調べたことを発信する学習にも取り組んでいます。



大牟田市立延命中学校の実践

「福祉体験学習」を通して

平成25年度の1年生は福祉体験学習で認知症や福祉施設の課題について取り組み、実際に施設に行き体験を行ったり、認知症の方との交流を通して地域の問題点を考えたりして、高齢者の方と共に生活する社会についての考え方を学びました。事前学習では本やインターネットで大牟田の街や福祉施設、認知症について調べ学習を行いました。その中でこれまで知らなかったさまざまなことを生徒は学び、地域の探索活動の学習へと繋げていくことができました。探索活動(ペアウォーク活動)では、危険箇所を見つけ市に陳情し、舗装や修繕していただきました。さらに施設体験学習では、高齢者に対しての接し方、協同での作業や生徒が作成したレクリエーションの道具を使っての交流など、施設内での活動を通して、たくさんのことを学ぶことができました。

